

2022 年度事業報告書

【期間】 2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日

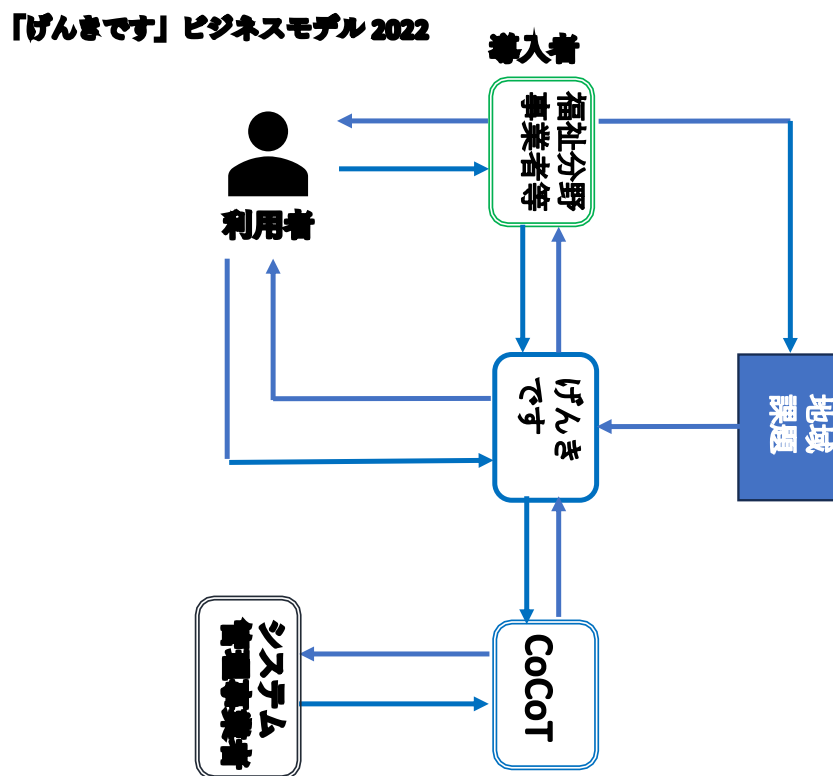
1. 事業報告

1-1 2022 年度全体総括

「あんしんプレミアムサービス『げんきです』」のビジネスモデルについて

2022 年度は、クラウド型地域見守り電話「げんきです」に「あんしんプレミアムサービス『げんきです』」と商品名をつけ、10月より、有料サービスとして販売を開始しました。地域と専門職をつなぐツールとして、様々な場面で活用することを民間企業に提案し、あんしんプレミアムサービス『げんきです』の普及拡大に取り組み始めたところです。

初期段階の「げんきです」のビジネスモデル(下図)を描きました。



○対象・ターゲット、ステークホルダーは誰か。

「げんきです」の見守りサービスを直接に利用するエンドユーザー(利用者)は、孤立孤独となる可能性がある人やそのことに不安を感じている人です。

「げんきです」サービスを導入する組織(導入者)は、上記の人たちを対象として活動し、顧客として事業を展開する福祉分野等の事業者や団体組織です。また、地域住民の関係が希薄になり少子高齢化の課題に苦慮している自治体・住民組織です。

「げんきです」の見守りサービスを提供することで、個々のエンドユーザー（利用者）にとっては、孤立孤独の不安の軽減となり、自治体・住民組織にとっては、地域とつながりづくりのきっかけとなります。継続していくことで親密な関係とコミュニティ作りにも役立ちます。関りを持つ事業者は、地域課題解決にコミットする社会貢献事業者とも言えます。

「げんきです」のシステム面での重要なステークホルダーである企画コーディネイト担当企業とシステム管理運営会社とは、現状では、ビジネスパートナーの関係です。両社が「げんきです」の根幹を支えてくれていることを踏まえ、互いのメリットが生まれる連携の形を作り出し、社会課題解決にコミットする事業者として、このプロジェクトに参画する価値を見出せるように、「げんきです」の価値づけをする必要があります。

○どのような価値を付けて提供するか。

福祉分野の専門機関には、地域のステークホルダーとつながりづくりのサービスが提供できます。週1回の安否確認とその応答状況をメールで支援団体と共有でき、対処の役割分担により、見守りにかかわる労力と精神的な負担を軽減していくものです。

見守りサービスを受けるエンドユーザー（利用者）には、手軽に見守りが始めるサービスを提供します。自分の意志で、緊急時の連絡先や見守り役を指定し、電話番号を登録するだけで、機器設置や工事の負担なく、始められます。

要連絡と知らせてきたユーザーに対して個別の相談対応し、サービス利用を継続してもらえる関係作りをします。

見守りを実施する側にとっては、顧客となる層の情報を蓄積し、高齢社会の対処方法の貴重なデータともなります。

○どのようにして、利益を生み出すか。

「げんきです」は、利用料金を低価格にして回転率（数量）で利益を獲得する収益モデルです。したがってエンドユーザー（利用者）数の拡大が、事業継続と拡大のカギとなります。「げんきです」のエンドユーザー（利用者）の層を顧客に持つ組織や団体に導入者となっていくことが最優先です。そのうえで、エンドユーザー（利用者）であるシニア世代が魅力的に感じる見守りサービスにする必要があります。特に、見守りサービスのエンドユーザー（利用者）の7割が女性であることやSNSの活用ができる世代が利用を始めたことを踏まえて、今後は、lineを活用して女性をターゲットにすることが効果的と思われます。

「あんしんプレミアムサービス『げんきです』」の見守りステーション運営体制について

見守りステーションの日々の業務フローは定型化できました。

加入手続きと集金の仕組みの業務フローは、まだ1年を経過していないので、定型化できるのは、2023年度です。

「あんしんプレミアムサービス『げんきです』」システムのオペレーションについて

「げんきです」システムを使用可能な状態に保つために行う監視やメンテナンス、利用者サポートなどの一連のオペレーションについて、次のステージに向かうために、より強固な構築が必要です。情報システムが本来の能力を発揮し続けられるよう監視や管理、保守などを継続的に行うことのできる体制づくりは、最重要課題として取り組まなくてはなりません。

居住支援事業の位置づけについて

2017 年高齢者の孤立化・孤独死予防の相談電話「あんしんほっとライン」を設置しました。2020 年より、居住支援相談窓口として、世代地域を限定せず生活困窮者・障がい者などの住まいと見守りの相談を受けています。相談件数は、2020 年 120 件。2021 年度約300件対処案件 5 件、2022 年度は延べ 480 件、対処案件は 18 件、成約案件は 5 件です。コロナ以前は相談件数年間 40 件程度であったので、著しく増加しています。

相談者の層は二つに分類できます。

A コロナ禍による経済的な危機により、困窮の度合いが進んでいる層。

- ① 失業や倒産による収入減
- ② 借入金返済ができない。
- ③ 健康を害する
- ④ 家族関係の破綻などの課題に直面している。課題を抱えている当事者を家族や個人で引き受けて、支え手が共に困窮層に移行していく可能性もある。

B コロナ禍で新たに生まれた層。

自分や周囲の人の健康状態が低下、あるいは死亡、施設入所などでこれまでの人間関係が失われ、孤独感が増しています。40・50 代の独身者や個人的なつながりを持っていない人が多い傾向です。

相談経緯は、生活支援課、自立支援センターやリハビリテーション施設などの支援者からです。支援の方針や連携先探しは、ケースごとにカンファレンスを開いて実際に対処できるかも含めて対応を決めています。カンファレンスでの方針に沿って、不動産事業者の紹介・同行や支援機関の紹介をしています。

国土交通省の補助事業が 2024 年度(令和 6 年度)を持って打ち切られることを踏まえ、CoCoT として、どのような形で継続していくのか、検討の時期に来ています。

認定 NPO 法人格の取得について

2022 年度の取得を目指しましたが、チェック体制が不十分だったため、取得は実現できませんでした。2023 年度は、要件に沿う会計処理の確認も含めて定期的な会合が必要です。

法人経営と資金調達について

法人経営については、3月に臨時総会を開催し、新理事を枝並和樹氏迎えることができました。これからの運営体制の力付けとなります。

あんしんプレミアムサービス「げんきです」の開発に伴い、開発費用と継続使用していくための定額経費が大きな出費となりました。「げんきです」が収益事業として黒字経営していくための先行投資と位置付けています。

つなぎの期間の資金調達として、ちばぎんハートフル福祉基金と Yahoo 福祉基金から助成を受けました。

2. 個別事業報告

事業系

柱1. 地域連携

(1) あんしんプレミアムサービス「げんきです」推進事業

A 見守りステーションの日々の業務フローは定型化できました。

- ① 応答状況の確認
- ② 9番対応
- ③ ご近所見守りと緊急連絡先への連絡
- ④ 連携団体への月次報告

B 2022年度末 有料サービス利用者

(2022年10月より加入手続きを開始。2023年3月末段階で、加入手続きが終了し、サービスを開始した人数の集計)

- ① 総数:18名
- ② 性別:男性 5名 女性13名
- ③ 年代:80代 8名 70代6名 60代4名
- ④ 加入経緯内訳:無料サービスから切り替えた人 11名
不動産管理会社からの紹介 1名
居住支援から 1名
自治会からの紹介 2名
身元保証NPOからの紹介 3名

C 各分野で働きかけた事業者・団体

- ① 医療介護分野事業への働きかけ 13件
- ② 身元保証・死後事務委任分野事業への働きかけ 1件
- ③ 不動産管理分野事業への働きかけ 7件
- ④ 地域包括ケア体制を推進する自治体・地域包括支援センターへの働きかけ 4件
- ⑤ 社会福祉協議会 3件
- ⑥ 弁護士等への働きかけ 2件
- ⑦ その他 1件

(2) 居住支援相談「住まいと見守りの相談窓口」

住宅所得困難者居住支援法人として、「住まいと見守りの相談窓口」を設置。

国土交通省住宅居住支援法人補助事業

「住まいと見守りの相談」あんしんほっとライン:0120-386-117

開設曜日時間: 月曜日～金曜日 10時00分～16時00分

相談件数:延べ480件

入居成約件数:5件

柱2. NPO支援

中間支援組織として、非営利活動に取り組む組織に対して、法人形態にこだわることなく、活動の支援を行いました。

(1) 一般社団法人あんしん地域見守りネット事務局業務

松戸の「あんしん電話」補助事業の終了に伴い、補助事業にかかわる事務経理業務はなくなりました。ニュースレター「かけはし」編集のサポートをしました。障がい者支援の研修会に、事務局員を派遣しました。

(2) 個別相談対応

助成金情報についての相談 1件。

(3) 民間企業の社会貢献活動の支援

具体的な支援にはつながりませんでした。

あんしんプレミアムサービス「げんきです」のシステムが、株式会社リンクより、クラウド型ビジネスフォンの導入事例として取り上げられました。

<https://biztel.jp/case/bp/11184/>

柱3. 人材育成事業

(1) 居住支援相談員育成

全体的な業務処理能力や力量を育成するために、月1回のスタッフ会議で、研修のプログラムを組み込みました。居住支援相談員が定着し相談スキルが身につき、相談業務や見守りの業務に専念する体制ができました。

(2) コミュニティコーディネーター育成

取り組むことができませんでした。

(3) 退職シニア地域活動支援

取り組むことができませんでした。

管理系

(1) 広報

- ・HPの修正・再構成を行いました
- ・メルマガの定期的発信はできませんでした。
- ・Facebookの身近な情報発信は、定期的に更新することはできませんでした。

(2) 組織運営

- ・総会 1回開催
- ・臨時総会 1回開催
- ・理事会 3回開催
- ・経営会議
月1回開催 理事を中心に、法人経営状況や各事業の進捗状況を確認しました。
- ・げんきですプロジェクト会議
主に月2回開催 CoCoT会員に限定せず、「げんきです」にかかわる方や関心を持っている方に参加していただき、意見交換を行いました。

(3) 経営

2022年度の出費については、「げんきです」を収益事業として運営していくための先行投資です。この先行投資の効果を上げるための活動と収支が今後の課題となります。

2022年度 活動計算報告書
2022年4月1日から2023年3月31日まで

特定非営利活動法人コミュニティ・コーディネーターズ・タンク
代表理事 小山 淳子
(単位:円)

科目	決算金額		前年実績	対比	
I 経常収益					
1. 受取会費			76,500	93,000	82%
正会員受取入会金	10,000			10,000	
正会員受取会費	66,500			72,000	
準会員受取入会金	-			-	
準会員受取会費	-			11,000	
賛助会員受取会費	-			-	
2. 受取寄附金			2,776,100	871,000	319%
受取寄附金	2,776,100			871,000	
3. 受取助成金等			6,640,186	5,040,000	132%
受取助成金	1,800,000			900,000	
受取補助金	4,840,186			4,140,000	
4. 事業収益			613,596	1,413,864	43%
人材育成事業収益	-			450,000	
地域連携事業収益	151,260			915,264	
NPO支援事業収益	462,336			40,600	
5. その他収益			40	63	
経常収益計			10,106,422	7,417,927	136%
II 経常費用					
1. 事業費			9,066,853	6,900,063	131%
人材育成事業費		103,479		-	
人件費	-			-	
その他経費	103,479			-	
地域連携事業費		8,400,923		5,214,202	
人件費	4,508,170			2,920,586	
その他経費	3,892,753			2,293,616	
NPO支援事業収益		461,176		1,469,530	
人件費	-			661,273	
その他経費	461,176			808,257	
事業部門共通事業費		101,275		216,331	
人件費	22,000			26,158	
その他経費	79,275			190,173	
人件費計			4,530,170	3,608,017	126%
その他経費計			4,536,683	3,292,046	138%
2. 管理費			610,377	459,869	133%
(1) 人件費		-		-	
(2) その他経費		610,377		459,869	133%
外注費・業務委託費	-			-	
旅費交通費	-			-	
通信費	52,084			50,965	
租税公課	-			-	
消耗品費・印刷製本費	13,659			12,443	
地代家賃・管理費・水道光熱費	537,434			394,043	
会議費・賃借料	-			-	
保険料・諸会費・支払手数料等	7,200			2,418	
経常費用計			9,677,230	7,359,932	131%
当期経常増減額			429,192	57,995	740%
III 経常外収益					
1. 雑収益	5,724			2,346	
経常外収益計			5,724		-
IV 経常外費用					
1. 雑損失	7,800			-	
2. 減価償却費	407,220			-	
経常外費用計			415,020		-
税引前当期正味財産増減額			19,896	60,341	33%
法人税、住民税及び事業税			-	-	
当期正味財産増減額			19,896	60,341	33%
前期繰越正味財産額			7,830,431	7,770,090	101%
次期繰越正味財産額			7,850,327	7,830,431	100%

(法第28条第1項「前事業年度の計算書類(計算書類の注記)」)

計算書類の注記

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準に基づいています。

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

なし

(2) 固定資産の減価償却の方法

定額法

(3) 引当金の計上基準

なし

(4) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理

なし

(5) ボランティアによる役務の提供

なし

(6) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式です。

2. 会計方針の変更

なし

3. 事業別損益の状況

(単位:円)

科目	人材育成事業	地域連携事業	NPO支援事業	事業部門共通	事業部門計
I 経常収益					
受取会費	-	-	-	76,500	76,500
受取寄附金	-	-	-	2,776,100	2,776,100
受取助成金	-	1,800,000	-	-	1,800,000
受取補助金	-	3,840,186	-	1,000,000	4,840,186
事業収益	-	151,260	462,336	-	613,596
その他収益	-	-	-	40	40
経常収益計	-	5,791,446	462,336	3,852,640	10,106,422
II 経常費用					
(1) 人件費					
役員報酬	-	1,800,000	-	-	1,800,000
給料手当	-	1,810,910	-	-	1,810,910
ボランティア謝金	-	2,000	-	-	2,000
通勤交通費	-	257,970	-	-	257,970
法定福利費・福利厚生費	-	539,379	-	-	539,379
外注費	-	97,911	-	22,000	119,911
人件費計	-	4,508,170	-	22,000	4,530,170
(2) その他経費					
報償費	-	438,000	-	-	438,000
通信費・荷造運賃	50,757	396,009	51,633	-	498,399
旅費交通費・車両費	52,722	146,844	-	600	200,166
会議費・広告費	-	1,662	-	23,748	25,410
消耗品費・印刷製本費	-	579,543	13,680	3,030	596,253
業務管理費	-	2,330,695	395,863	51,897	2,778,455
その他経費計	103,479	3,892,753	461,176	79,275	4,536,683
経常費用計	103,479	8,400,923	461,176	101,275	9,066,853
当期経常増減額	-103,479	-2,609,477	1,160	3,751,365	1,039,569

4. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳

(単位:円)

内容	金額	算定方法
該当なし		

5. 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる

(単位:円)

内容	金額	算定方法
該当なし		

6. 用途等が制約された寄附金等の内訳

用途等が制約された寄附金等の内訳(正味財産の増減及び残高の状況)は以下の通りです。

下記のように用途が特定されている財産はありません。

(単位:円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
該当なし					

7. 固定資産の増減内訳

(単位:円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得残高	減価償却累計額	期末帳簿価額
保証金(アセット松戸Ⅱ)	-	140,000	-	140,000	-	140,000
保証金(Suica)	1,500	-	-	1,500	-	1,500
合計	1,500	140,000	-	141,500	-	141,500

8. 借入金の増減内訳

(単位:円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
該当なし	-	-	-	-

9. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位:円)

科目	計算書類に計上された金額	内役員及び近親者との取引
(活動計算書)		
諸謝金(事業)	438,000	360,000
委託料	25,892	-
活動計算書計	463,892	360,000
(貸借対照表)		
未払金	498,190	159,900
未収金	13,167	6,000
貸借対照表計	511,357	165,900

10. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

・ 現物寄附の評価方法

該当なし

・ 事業費と管理費の按分方法

各事業の経費及び事業費と管理費に共通する経費のうち、給料手当及び旅費交通費については従事割合に基づき按分しています。

・ 重要な後発事象

該当なし

・ その他の事業に係る資産の状況

該当なし

特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

NPO法人コミュニティ・コーディネーターズ・タンク

[税込] (単位:円)

全事業所

2023年3月31日 現在

勘定科目名称	当年度	前年度	増減
【流動資産】	6,643,257	9,749,441	△ 3,106,184
(現金・預金)	6,554,024	8,809,222	△ 2,255,198
現金・預金	6,554,024	8,809,222	△ 2,255,198
(売上債権)	13,167	935,264	△ 922,097
未 収 金	13,167	935,264	△ 922,097
(その他流動資産)	76,066	4,955	71,111
前 払 金	61,111	0	61,111
仮 払 金	10,000	0	10,000
Suicaチャージ	4,955	4,955	0
【固定資産】	1,770,380	141,500	1,628,880
(無形固定資産)	1,628,880	0	1,628,880
システム開発	1,628,880	0	1,628,880
(投資その他の資産)	141,500	141,500	0
保 証 金	141,500	141,500	0
資産の部 合計	8,413,637	9,890,941	△ 1,477,304
【流動負債】	563,310	2,060,510	△ 1,497,200
未 払 金	498,190	411,484	86,706
役員未払金	0	1,590,580	△ 1,590,580
前 受 金	24,365	0	24,365
預 り 金	40,755	58,446	△ 17,691
負債の部 合計	563,310	2,060,510	△ 1,497,200
【正味財産】	7,850,327	7,830,431	19,896
正味 財産	7,850,327	7,830,431	19,896
正味財産の部 合計	7,850,327	7,830,431	19,896
負債・正味財産の部 合計	8,413,637	9,890,941	△ 1,477,304

特定非営利活動に係る事業会計財産目録

NPO法人コミュニティ・コーディネーターズ・タンク

[税込] (単位:円)

全事業

2023年3月31日 現在

	当年度	前年度	増減
資産の部			
【流動資産】	6,643,257	9,749,441	△ 3,106,184
(現金・預金)	6,554,024	8,809,222	△ 2,255,198
現金	1,531,891	811,900	719,991
預金千葉1	3,888,386	6,556,318	△ 2,667,932
預金ゆうちょ	83,231	97,373	△ 14,142
預金MSF	0	60,005	△ 60,005
預金寄付口	135,334	56,432	78,902
預金千葉2	835,518	820,208	15,310
預金千葉3	79,664	346,289	△ 266,625
預金千葉4	0	60,697	△ 60,697
(売上債権)	13,167	935,264	△ 922,097
未 収 金	13,167	935,264	△ 922,097
(その他流動資産)	76,066	4,955	71,111
前 払 金	61,111	0	61,111
仮 払 金	10,000	0	10,000
Suicaチャージ	4,955	4,955	0
【固定資産】	1,770,380	141,500	1,628,880
(無形固定資産)	1,628,880	0	1,628,880
システム開発	1,628,880	0	1,628,880
(投資その他の資産)	141,500	141,500	0
保 証 金	141,500	141,500	0
資産の部 合計	8,413,637	9,890,941	△ 1,477,304
負債の部			
【流動負債】	563,310	2,060,510	△ 1,497,200
未 払 金	498,190	411,484	86,706
役員未払金	0	1,590,580	△ 1,590,580
前 受 金	24,365	0	24,365
預 り 金	40,755	58,446	△ 17,691
負債の部 合計	563,310	2,060,510	△ 1,497,200
【正味財産】	7,850,327	7,830,431	19,896
正味 財産	7,850,327	7,830,431	19,896
正味財産	7,850,327	7,830,431	19,896